

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 19 No 9

218号

平成23年 9月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

第21回日本外来小児科学会年次集会

院長

8月末は毎年、日本外来小児科学会年次集会に参加しています。学会の役員をしているため前日からの参加となり、皆さんにはご迷惑をお掛けしました。お詫びの印として、今年も学会の様子を報告します。

今年の第21回日本外来小児科学会年次集会は8月26日～28日に、神戸国際会議場で開催されました。この学会は小児科の開業医が中心で、全国から2000人を超える参加者が集まります。普通の学会は医師だけなのですが、看護師や薬剤師、事務スタッフが参加できるのが特徴です。今まではスタッフも参加することもあったのですが、今年は震災の影響もあり参加を断念しました。

26日の午後休診にして、早速バスで仙台空港へ。仙台空港の周りの“がれき”はかなり目立たなくなったものの、津波の被害に遭った飲食店は被災したままの姿。しばらく薄れていた記憶が、また蘇りました。一路飛行機で伊丹空港、そしてリムジンバスで神戸まで。最初からぎりぎりの時間、渋滞に巻き込まれ遅刻して役員会へ。役員会では震災のコメントを求められ、少し熱くなってしまって長話を。時間も押していたので、迷惑を掛けたのかと大反省。今回も昨年同様に、目一杯の4つの発表を。震災関連のパネル「東北地方太平洋沖地震を経験して-震災レポート-」と院内報「かわむらこどもクリニックNEWS」の展示。そして一般演題2題「髄膜炎関連ワクチン並びに同時接種見合わせ後の保護者の意識調査」、「東日本大震災における小児科医の役割と情報発信の重要性」。今回はパネル展示とポスターがあったので、合計35枚のA3のポスターを準備。まずはこんなに多く持ち込んだのは、いないはず。役員会終了後ポスターを貼ろうとしたけど、会場の都合で翌朝に。前夜祭の懇親会は、早朝会議と発表準備でキャンセル。1人淋しく夜遅くまで発表の準備を。

27日は6:30から眠い目をこすりながらの厚労省の研究班「同時接種に関する安全性調査研究」の会議へ。皆さんにご協力戴いているワクチン後の副反応の調査表の集計。しばらく続くのでどうぞよろしく。朝食の後は、パネル展示と一般演題のポスター貼付け。「東北地方太平洋沖地震を経験して-震災レポート-」(院内掲示中)のパネルはA3で11枚。震災後の状況、ライフライン、診療と医療支援、被災地の状況。皆さんから頂いた心温まるメールなどの紹介。写真も患者さんが写っているものも含めて18枚。しっかり全国の人たちに震災の状況を伝えられたはず。

その後はホテルの部屋に戻って、発表のための最後の調

9月のお知らせ

- ・臨時休診
24日(土) ロタリックス講演会(東京)
- ・休日当番
19日(祝) 9:00～16:00
- ・学生実習
16日(金) ご協力を!
- ・栄養育児相談
7、21日 栄養士担当
参加無料

整。調整とは名ばかりのぎりぎりのスライド作り。お昼はランチョンセミナー(お弁当をたべながらの講演会)。美味しいお弁当と発表で目一杯だったため講演が何だったか記憶なし。15:00頃から「髄膜炎関連ワクチン並びに同時接種



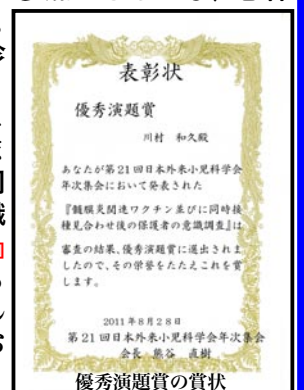
見合わせ後の保護者の意識調査」の発表。ワクチン接種見合わせ直後と2ヶ月後の意識調査。結論は、接種医は保護者の意識を理解した上でワクチン接種を奨めなければならない。ちょっとカッコいい(笑)。発表は原稿を読むのが普通、自分は原稿なし。時間も途中の進み具合で自由に調整。やっぱり緊張するけど、しゃべっているうちに気分は高揚。スピーチズハイ(しゃべっているうちに脳内麻薬が溢れてくる:笑)。夜は「細菌性髄膜炎からこどもを守る会」の田中会長さんたちと懇親を。様々な人たちとの出会いがあり。これが出かけていく楽しみのひとつ。帰ってからは、またまた翌日発表の準備で夜更けまで。

28日はメインホールで震災関連の「東日本大震災における小児科医の役割と情報発信の重要性」発表。大きな会場で聴衆が多いことは演者としての喜びの条件。ここでエピソードをひとつ。震災関連の演題募集をしたけど集まらず会長から直々要請。でも直前になって座長(司会みたいは人)から“時間厳守をお願いします”と。要請されたにもかかわらず時間厳守?これって無いでしょう?。発表は8分だったけど、一人目の演者は座長に長すぎると注意される始末。場慣れした院長は、原稿無しで13秒オーバーで無事終了。時間厳守が演者のひとつの使命ですから。

さて、準備で忙しい地獄のような1週間。学会でも美味しいものが食べられず。成功のご褒美に暑さのなか神戸の中華街へ。“グリル伊藤”でビーフシチューのランチを仙台の萱場先生と鈴木先生とともに。とても美味しかったことを最後に付け加えて。やっと地獄の忙しさから開放された帰りの飛行機。4つの役目を果たした満足は、何にも変え難い!!。帰りの飛行機の窓の美しい夕焼けも、“お疲れさま”と言っているようだ。

夏休みのすぐ後に、お休みをいただきました。休診と知らずに来院した方もいたでしょう。ご迷惑をおかけしました。このように余裕を持って学会に参加できるのも、患者さんのご理解とご協力のお陰です。学会で得たものを、これからの診療に生かしていこうと思います。

そして思い掛けないうれしいことがあったので付け加えておきます。「髄膜炎関連ワクチン並びに同時接種見合わせ後の保護者の意識調査」が、学会の『優秀演題賞』を頂くことができました。これもアンケートにご協力頂いた皆さんのお陰です。もう一度改めて、お礼を申し上げます。



『がんばろう!宮城 がんばろう!日本』
“みんなでやれば、大きな力に”

読者の広場

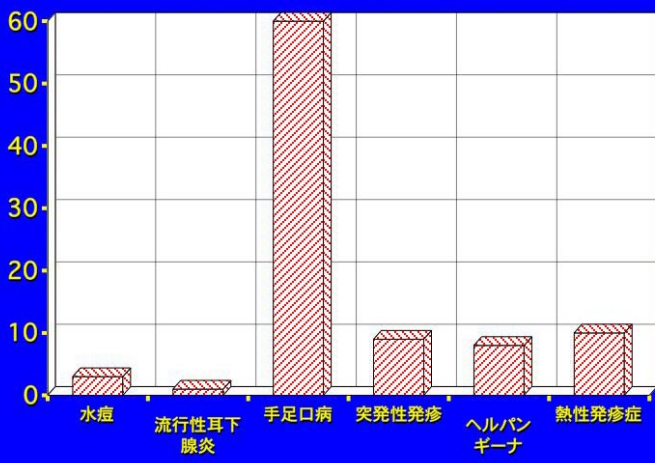
夏休みのせいかわり12通と少なめでした。まずは青葉区の布川さんから「先日手紙持参で、診ていただき、ありがとうございました。目の症状も頂いた目薬で落ち着いています。母(おばあちゃん)からも詳しく聞き、安心しました!!いつも真新しい症状があると家庭の医学を見ながら、この病気なのではないかと心配して、先生に診ていただき、安心をもらって帰っています。本当にありがとうございます。8月号のクリニックニュース拝見させていただきました。私も放射能の件でも心配しています。(予想通り?)スーパーで産地を見て、迷ったり、水たまりで遊ぼうとする子どもをやめさせたり...



ただ、心配するストレスも発ガンの要因であること。事故が起きてしまい、隣県にいる限り、付き合っていく必要があること。しかしながら、まだ終息しているわけではないので、正しい情報をとりながら冷静に判断していきたいと思います。アレルギーのあるお母さんはこういう思いを続けて生活しているのかなあと。毎日の診察に加え、全国各地での勉強会・発表など、お忙しいと思いますが、お体ご自愛ください!!今後とも、引き続きよろしくお祈りします。お母さんが来れなかったので、病状説明の手紙とおばあちゃんが連れてきました。直接お母さんの耳に入らない分、いつもより丁寧に説明しました。そのことが伝わったようでこちらとしても安心できました。そうですよね誰でも放射能のことは気になるのは仕方ありません。誰も安全とは言い切れるものではありませんが、仙台では現状では心配は無いと考えるしかありません。現実の生活を切り離すことができない以上、何とか今の状況と上手く付き合うしか方法がありません。続いては旅先で怪我をした青葉区の齋藤さんからのメールです。「かわむら先生、いつもお世話になっております。齋藤純聖の母です。今、北海道に遊びに来ているのですが、純聖が上顎にケガをしました。写真を添付させていただきますが、ジエング(長方形の木片)を加えていて、友達に押され上顎の左右二カ所がえぐれた様になってしまいました。近くに口腔外科はなく、歯科も休みて、内科診療所に連れて行きましたが、2~3秒見ただけで「縫える場所ではないので、うがい薬と化膿止めと痛み止めを出します」と言われました。あまりに簡単過ぎて不安になりましたが、まだ仙台に帰らないので、かわむら先生の所への受診は出来ません。歯科や口腔外科へ受診したほうが良いでしょうか?お忙しいところ申し訳ありませんが、傷の写真を見て頂ければと思います。よろしくお祈りします。」。返事後のメールです。「メールの返信頂いた齋藤純聖の母です。お忙しいところ、本当にありがとうございました。傷口は一昨日より、だいぶ小さくなりましたが、急のため月曜日に歯科に受診させたいと思います。今回、旅行先のホテルでケガをしてしまい、不安な中でかわむら先生に相談出来て(かわむらこどもクリニックに通っていて)とてもありがた

かったです。母親としては情けないですが、ケガをしたことがなく育ったもので、経験も知識もありません。男の子二人なので、これからもお世話になるかと思ひます。よろしくお祈りいたします。本当にありがとうございました。」。見知らぬと地での怪我や病気は、いっそう不安になります。先月号にも書きましたが、かかりつけの患者さんはどこへ行っても、かかりつけです。ともかく大事に至らなくて、何よりでした。

8月の感染症の集計



水痘と溶連菌感染症は激減しました。先月号でもお伝えしましたが手足口病の全国的な流行に伴い60人もの手足口病のお子さんがいました。60人というのは開業以来、最高の流行です。脳炎や脱水を合併することがありますが、幸い重症のお子さんはいませんでした。ヘルパンギーナと診断したら、結局手足口病という場合も有り、高熱が出る割合が多いような気がしました。また名前がつかない発疹症も多くみられています。

Mail News, Twitter, Blog の紹介



Mail News は、震災を切っ掛けに355人を越えるお母さん方に登録をいただいています。右上のバーコードから「登録希望」と登録者、お子さんの名前を送信してください。

携帯用HP(左のバーコード)でMail NewsとTwitterも読めます。両方で情報を提供していました。Blog(右下バーコード)では、震災の始まりからの詳しい状況を写真入りで紹介してあります。是非お読みください!



臨時休診のお知らせ (9月19日休日当番の代休)

9月24日(土)が休診になります。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

『お母さんクラブ』のご案内

「あなたは大丈夫!? 子どもの救急蘇生」

9月8日(木) 14:00 ~ 福沢市民センター 会費 300円

「あなたも大丈夫 救急蘇生」は定番で、ついに13回目となりました。毎回好評の講習会を、今年も青葉消防署の鎌田さんを講師に迎え開催します。「頭を強く打った」、「ひきつけた」、「意識がない」、「呼吸が止まった」、「心臓が止まった」等の時、お母さん達は何をしたらいいのでしょうか。小児救急の話だけでなく、乳児や幼児の人形(ダミー)を使った救急蘇生の体験がメインです。蘇生用の人形もグループ毎に準備してあります。話題のAEDの体験もできるようになりました。年に1度の機会ですから、人工呼吸、心臓マッサージ、AED使用にチャレンジしてみましょう。

予防接種が一部変更になりました(日本脳炎、震災救済)

詳細は院内掲示、Blogをご覧ください

編集後記

今年は様々な予定が入り、休診も多くなり、皆様にはご迷惑をおかけしています。しかしながら、休みの分だけ活躍しています。1月の仙台市医師会学術奨励賞に続き、今回は優秀演題賞を頂くことができました。仕事すれば、その分確かな手ごたえがあります。ある意味、皆さんのお陰と思ひ、幸せを感じています。早速休みがあるので、ご協力を!



『お母さんクラブ』は、9月から再開の予定です。楽しいことも大切です。ご期待ください!!

震災でのクリニックの対応・院長の取組み・患者さんからのメール・被災状況は、Blog「こどもクリニック四方山話」で!!